

当林道は西彼杵半島での森林路網の基幹道として、長崎市西海町の県道115号線（長崎漁港村松線）を起点に終点の西海市西海町の広域農道（オレンジロード）に至る全長40,674m・幅員5.0m～7.0m・利用区域面積4,267haの西彼杵半島西側山腹を縦断する森林基幹道です。

起点から県道57号線（神浦港長浦線）の南部工区、県道57号線から県道12号線（大瀬戸西彼線）の中部工区、県道12号線から終点までの北部工区の3工区にわけ開設工事を行ってきました。

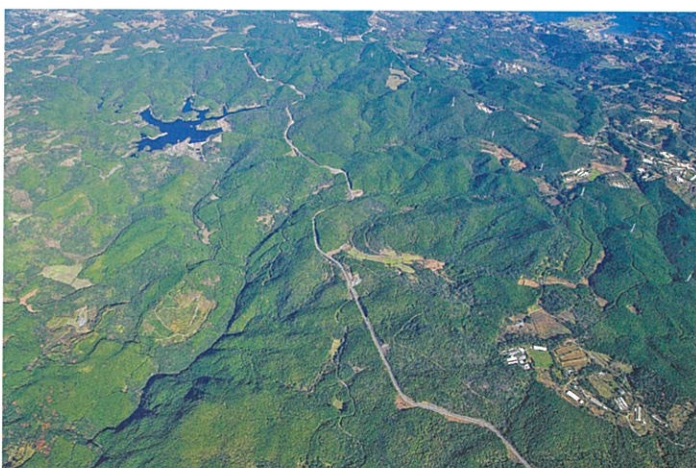
中部工区の一部を除き県内唯一の2車線林道となっています。

これまで中部工区の一部区間において、工事のため通行が出来なかったのが、平成30年度に工事が完了したことにより、平成7年の工事開始から24年の歳月をかけて全線開通となりました。

これにより高性能林業機械による森林施業や大型トラックでの木材搬出ができるようになり、森林整備の低コスト化が期待されます。

この林道は、林業活動はもちろんですが、沿線にある県民の森や伊佐ノ浦公園などの森林レクリエーション施設へのアクセス道路としての利用、国道等の迂回路など一般の方々にも利用いただける林道となっています。

西彼杵半島線位置図



航空写真（西海市西海町七釜郷から終点方向）



木材の搬出状況